

地域公共交通確保維持に向けた勉強会について(報告)

当日の内容

- (1)八街市の公共交通に関する現状について
- (2)公共交通事業者より路線バスの現状について
 - ・ 午前の部：千葉交通株式会社
 - ・ 午後の部：ちばフラワーバス株式会社
- (3)八街市地域公共交通計画の策定に関する方針・概要について
- (4)その他

■午前の部

- ・ 日時 10月31日(土) 10時30分～12時
- ・ 会場 八街市立八街中学校体育館
- ・ 参加者数 26名

○参加された方からのいただいたご意見 ()内は居住地区

- ・ (二区) 八街市の特色(落花生等)を活かした、ふれあいバスによるイベント等ができないか。
- ・ (朝日) 最近茨城から転居してきたが、コミュニティバスは茨城より不便だと感じる。バスの車体が大きすぎるのではないか。また乗合タクシーも充実している。
- ・ (六区) 現状では免許返納をすると、誰かに頼らざるを得なくなる。今後のためには公共交通の活性化を図っていく必要がある。住民(特に高齢者)が主体的に行動できる街づくりを目指してほしい。デマンド型交通の併用も考えられる。
- ・ (四区) 資料3をもっと具体的に説明してほしい。障がい者等の免許を持っていない交通弱者への配慮をしてもらいたい。通院の際にふれあいバスがあっても時間が合わないために送迎してもらっている。親も高齢化してきており難しくなっている。
- ・ (みどり台) 北コースは再編で2便増便しているが利用者は減少している。その要因はどう考えているか。また再編後は3%増というお話だったが、目標から見てそれでよいのか。収支率25%は全国的に見てどういう水準なのか。地域住民主体の公共交通とはどのようなものか。
- ・ (不明) 外出支援タクシーは見直さずに、ふれあいバスだけを見直していくのか。来年度以降どういう交通になっていくのか見えない。おまごバスへの乗継は、乗り継げる場所がなく不便である。
- ・ (不明) もっと細やかに住民の意見を取り入れてもらいたい。

■午後の部

- ・日時 10月31日(土) 14時～15時30分
- ・会場 八街市立二州小学校体育館
- ・参加者数 40名

○参加された方からのいただいたご意見 ()内は居住地区

- ・(不明) ふれあいバスのルート見直しが必要。ガーデンタウンの乗り入れ等、ふれあいバスの時間ロスになっている個所が複数ある。小学校や高校の登下校に合わせた運行ができないか。民間バスの存続のためにも利用しやすい環境が必要。ふれあいバスのバス停まで行くことができない人が出てきており、そういう人たちをどうするか考えてもらいたい。南部地域では高齢者外出支援タクシーも費用負担が大きく使いにくい。
- ・(四木) ふれあいバスだけでなくタクシーも含めてどうするかという視点が必要。南ルートは利用者が比較的多いが、バス停まで行けないことや、駅での乗り継ぎが必要なことなど課題がある。
- ・(不明) 南部から市役所、病院への直行便を運行してほしい。以前はふれあいバスターミナルの乗継の際に公民館で時間調節ができたが、今は駅で時間をつぶすことができないため、買い物に行っても帰りはタクシーを利用している。コースを検討する際には、市の職員もバスに同乗して現状を理解してもらいたい。
- ・(山田台) 高齢者が外出時に困る割合が目標としてあるが、自分の周りでは多いと感じている。山田台は市にほっておかれているという印象。
- ・(滝台) ふれあいバスを拡充することがシンプルな施策である。コロナ禍においては民間路線バスが苦しいことは理解しているが、撤退は避けていただきたい。南コース、西コースは利用者が増えているというが、もっと本数を増やせば利用者もさらに増えるのではないか。高校生の通学(特に雨天時)は歩道も狭く非常に危ないので、配備が必要では。日曜日の運行も利用者増には効果があるのではないか。
- ・(山田台) 免許返納を考えているが、東吉田に買物に行こうとすると、一度八街駅に行って循環線に乗り換えなければならない。タクシー券も1回に千円しか使うことができない。日中のふれあいバスは利用者が少なく、もっと有効活用できないか。
- ・(山田台) 山田台は高齢者が多く、住宅からバス停まで遠い。もっと住宅が多いところまでコースを変更してもらえないか。
- ・(六区) ふれあいバスだけに頼ってはいけいない。国のメニューにもあるように自家用有償運送も有効と考える。
- ・(大谷流) 現在、ボランティアで周辺の人を病院へ運んだりしている。ふれあいバスをもっと増やしてもらいたい。
- ・(ガーデンタウン) 公共交通を現状維持していった場合、更に本数アップをした場合にどれだけコストが上がるのか。現状の利用者負担のまま維持できる

とは考えていない。相応の利用者負担も上げざるを得ないのではないか。計画にはそれくらいまで含めて考えてもらいたい。

- ・（四区）市内の公共交通に危機感を持っている。かつては、千葉、佐倉、成田にそれぞれ2路線ずつバス路線があった。利用者が少なければ民間バス会社は減らさざるを得ない。八街線もどうなるか分からない。

地元の人がしっかり乗るということを示していかないといくら訴えても仕方がない。利用者を増やすための発想が市にも住民にも足りない。自助、共助、公助は自助が一番はじめで公助は最後である。住民が自ら行動することが必要。

- ・（四木）私は自家用有償運送には反対である。命を預かるようなことを市民に負担させてはいけない。